

# 第27回 MQI 活動

2022年度MQI統一主題

価値観の転換-守るものと、変えるもの-



発行 (公財) 練馬総合病院MQI推進委員会  
〒176-8530 練馬区旭丘1-24-1  
Tel.03-5988-2200 (代)

## 2022年度 MQI 活動予定表

3/18	5/14	6/13、20	8/1、15	10/3	10/19	11月	12/3	2月
キックオフ (動画配信)	半日で計画を立てる会	チーム別相談会①	チーム別相談会②	発表スライド×切	予演会	報文集作成	発表大会	継続フォローの会

※状況により予定が変更になることがあります。今、この地点です。活動できる期間はあと少しです！！

今年から毎週の推進委員会で、各チームの進捗状況を、担当推進委員が報告し、担当推進委員だけでなく、推進委員会全体で各チームの進捗状況を確認する仕組みを開始しました。

## 2022年 2回のチーム別相談会を6月と8月にしました

テーマ・チーム名/ 主体部署・リーダー・サブ	チームリーダーから ひとこと	委員会からコメント
『身体抑制した患者数の減少を目指す』 めざせ★ ポケモンマスター  看護部 曾根菜津子・稲川実紗	チーム別相談会で抑制解除にむけた取り組みをすることと患者の安全面の確保は必要不可欠であると再認識しました。 今後は他部署の方に抑制に関する記録の記載をしていただく予定です、ご協力をよろしくおねがいします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体抑制継続の長さの表し方など現状把握は少しずつ整理できてきた。</li> <li>一方でインシデント検討の流れのわかりにくさや、特性要因図で肝心の骨が隠れてしまっている点は修正が必要。</li> <li>多職種で評価し、抑制の継続/解除を適切に判断できるようになるとよい。</li> </ul>
『当院職員の健康増進』  鳥かわビッグバーン  リハビリテーション科 監崎光希・小吹伸也	現状把握～原因追求を終えて、チーム別相談会に臨みました。原因追求は事前に相談させて頂いたおかげで要点を外していないものとなったと思います。これから、対策実施に活動が移っていきます。魅力的な対策を考案・実施できればと思います。最後の発表を動画でやりたいです！	<ul style="list-style-type: none"> <li>特性要因図で要因があがっているのに、それに対する対策がざっくりとしているので、内容が繋がりにくい。</li> <li>動画視聴の際のアンケートを取りこぼさないための注意喚起の仕方は検討が必要。</li> </ul>

テーマ・チーム名/ 主体部署・リーダー・ サブ	チームリーダーから ひとこと	委員会からコメント
<p>『受付業務の効率化』</p> <p>受付業務を どうにかし隊</p> <p>臨床検査科 小宮山海渡・中尾和城</p>	<p>8月1日より診察日前検査を開始しました。これにより患者さんの採血・検査待ち時間の短縮ができます。また、検査科内線番号を見直し、受付に集中する電話問い合わせを分散させる為に新たな内線番号の運用を9月1日から開始します。これにより受付の電話対応が軽減され、外来患者に迅速な対応ができ、検査科前の混雑解消につながります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最初の対策で、事前採血を始めてみたとのことだが、先生方の理解は得られているのか？例えば、化学療法の患者などは当日の方が良いが、スライドからどういう患者が対象になるのか分からない。</li> <li>現状把握の、一番初めの採血のところで、結果報告まで40分や50分かかるとなっているが、8:30から採血を始めたら、当然、9:00には間に合わないのでは？</li> </ul>
<p>『職員用の紙削減』</p> <p>ビッグアイランド</p> <p>紙削減有志チーム 大島暢・宮本麻耶加</p>	<p>チーム別相談会にて活動内容を後押し頂き、おかげさまで紙削減の対策として、まずは第3会議室にモニターの常時設置、労力削減の対策として、紙アンケートではなく、院内グループウェアを用いた電子アンケート作成を実施する事が出来ました。さらなる活動として地下講堂・研究棟3階会議室への常時プロジェクト設置を検討しています。頂いたご意見を基に職員の労力削減に繋がる活動を続けていきたいと思います。</p>	<p>現状把握、原因追求から挙げた対策を実施できるように、活動を進めていきましょう。感染予防講習会の開催を、紙アンケートではなく、院内グループウェアを用いた電子アンケートを実施したため、対策実施に伴う、職員の労力の削減についても効果を確認しましょう。柳川理事長は、プロジェクトの設置についても、賛成です。統一主題である、価値観の転換を意識した対策案を提示ください。</p>
<p>『倉庫を整理して 物品収納を 円滑にする』</p> <p>掃活隊</p> <p>事務部 北村智弥・白根晃</p>	<p>活動範囲をなかなか決められず悩んでいました。相談会でも範囲が広すぎるとの指摘がありました。チームで決めた要因図作成を後回しにして、仕組みづくりを先行すべきとの指摘があり、なかなかうまく進めず苦勞しています。メンバーの力を借りながら良い発表ができるよう頑張ります。</p>	<p>現状把握で、院内で廃棄届けを出しているが捨てていないものがどの程度あるか調査している。この調査したことを特性要因図で原因追求したほうがよいので、「廃棄したいものが、廃棄できない」ことの原因を考えてはどうか？また、捨てるしくみがあるのか？あるのであれば、それは守られているのか？など見直してみてください。</p>
<p>『内視鏡センター 運用の最適化』</p> <p>アッパー</p> <p>内視鏡センター 喜多哲史・森下佳子</p>	<p>以前のMQI活動でも、手を出しづらい問題ばかり目立ち、活動内容が薄まってしまうことが多々ありました。今回も半日の会から比べて大きく縮小することになりましたが、できるかぎりの活動を継続していきます。</p>	<p>活動の目標を、勤務時間内に終わることを目標とせず予定通りに検査を終えられることとしたほうがよい。職員目線の言葉でなく、患者目線の表現にすべきである。原因追求では、現状把握で分かった問題点（CT、エコー待ちや施行医の一時退室など）を分析したほうがよい。他部署メンバーも含めて、現状把握の段階から話し合いが必要。</p>

半日で計画を立てる会から、3か月程経過しました。各チームの進捗状況はいかがでしょう？活動が停滞している場合には、MQI推進委員会で相談することもできるので、担当推進委員に確認してみてください。また新型コロナウイルス感染症が拡大している中で活動は、いろいろな面で厳しい状況ではありますが、工夫して活動していきましょう。